

# 第1章 終了時評価調査団の派遣

## 1-1 調査団派遣の経緯と目的

アルゼンティンは、人口約3,470万人（1995年）を有し、近年の人口増加率は1.3%（1980～1992年）、乳児死亡率22.9人/千人（1993年）、平均寿命は男性68.6歳・女性75.7歳（1990～1995年）、1人当たりのGNPは8,030USドル（1995年）と、これらの指標は比較的高い水準にあるが、財政赤字、高い失業率など改善すべき問題が山積みとなっている。また、社会福祉や医療サービスの向上も重要課題であり、それらの政策策定と実施に不可欠な人口情報を中心とした国の基本的統計システムの整備が遅れている。

このような状況の下、アルゼンティン政府は我が国に対し、より効果的な国家開発計画、人口政策の立案を可能とするため、中央政府・地方自治体レベルの統計データの整備と広大な国土（面積約277万㎡）に在住する国民全体のデータ整備を図ることを目的として、プロジェクト方式技術協力を要請してきた。

これを受けて、我が国は1995年9月15日から5年間の協力期間で、(1)人口統計情報システムの構築、(2)2000年国勢調査の実施体制整備、(3)統計職員の訓練体制の確立を目標とした「人口統計プロジェクト」を開始した。プロジェクトは、経済企画庁人口統計局（INDEC）をカウンターパートとし、地方モデル5州（サルタ、ミシオネス、サンルイス、サンタフェ、チュブット）を設定して、現在、順調に活動を展開している。

このたび、2000年9月14日の協力期間終了を控え、本終了時評価調査団は、これまで実施してきたプロジェクト活動について、当初計画、評価PDMに照らし、活動実績、運営管理、カウンターパートへの技術移転状況などについて調査分析し、プロジェクトの計画達成などの把握と評価を行うとともに、評価結果に基づき、今後の展開及び協力の方向性についてアルゼンティン政府と協議し、提言を行うことを目的に派遣された。

## 1-2 終了時評価の方法

プロジェクト開始から今回評価時までのプロジェクト計画、及び活動実績などについて整理し、日本・アルゼンティン側関係者との合同協議により、評価5項目（目標達成、効果、効率性、計画の妥当性、自立発展）の観点から分析のうえ、協力期間終了後における対応方針についても検討し、これらの結果を合同評価レポートに取りまとめ、両国政府関係者に提言する。

派遣前準備..... 1) 評価PDM案を作成する

2) 「終了時評価調査表」試案を検討し、調査団案を作成する

3) これまでに提出、作成された各種報告書の分析を行う

現地調査..... 1) カウンターパート、各モデル州関係者及び日本人専門家らと協議のうえ、

評価PDMを完成する

2) 終了時評価調査表を完成する

(上記関係者との面談、協議及び視察をとおして終了時評価調査表を改定する)

3) 合同委員会において最終的な討議を行い、合同評価報告書を作成し署名する

### 1 - 3 調査団の構成

団長・総括	小山 弘彦	総務庁統計顧問
人口統計	會田 雅人	総務庁統計局統計調査部国勢統計課管理企画室長
参加型計画手法	山田 清蔵	(株)片平エンジニアリングインターナショナル技術部部长
協力計画	加藤 誠治	国際協力事業団医療協力部計画課課長代理

### 1 - 4 調査日程

月 日	調査行程
3月11日(土)	東京発
12日(日)	ブエノスアイレス着 午後：プロジェクトチームと業務打合せ
13日(月)	午前：JICAアルゼンティン事務所打合せ、INDEC局長表敬訪問、在アルゼンティン日本大使館表敬 午後：外務省表敬、プロジェクトチームからのヒアリング
14日(火)	午前：INDECデータベース分野のヒアリング 午後：INDEC人口統計分野のヒアリング
15日(水)	午前：INDEC統計教育分野のヒアリング 午後：モデル5州統計局からのヒアリング
16日(木)	午前：サンルイス州へ移動(空路)*山田団員除く 午後：サンルイス州知事表敬、州統計局視察(INDECデータベース利用のデモンストレーション視察等)
17日(金)	午前：メンドーサ州へ移動(陸路) 午後：メンドーサ州知事表敬訪問、州統計局視察
18日(土)	午後：ブエノスアイレスへ移動(空路) 夜：評価ミニッツについて打合せ
19日(日)	ミシオネス州イグアスへ移動(空路)*山田団員除く
20日(月)	ミシオネス州ポサーダスへ移動(陸路)

3月21日(火)	午前：ミシオネス州知事表敬訪問、州統計局視察 午後：ブエノスアイレスへ移動(空路)
22日(水)	午前：評価ミニッツ案取りまとめ 午後：PDM及び評価ミニッツ案協議
23日(木)	午前：評価ミニッツ作成 午後：評価ミニッツ署名
24日(金)	午前：JICAアルゼンティン事務所報告、在アルゼンティン日本大使館報告 午後：ブエノスアイレス発 *加藤団員はメキシコへ移動
25日(土)	
26日(日)	東京着

## 1 - 5 主要面談者リスト

### 経済企画庁人口統計局 (INDEC)

Dr.Hector Montero	局長
Lic.Samuel Goldberg	次長
Sr.Patricio Carranza	統計手法技術国家統計システム調整部長
Lic.Ana Maria Edwin	人事人材育成部長
Lic.Juana Carrizo	人口社会統計部顧問
Lic.Alejandro Guisti	人口社会統計部長
Lic.Daniel Martinez	情報課長
Lic.Laura Cazzolli	人口統計センサス2000・コーディネーター
Lic.Antonia Giangualani	人口統計センサス2000・コーディネーター
Sr.Roberto Muinos	研修コーディネーター

### 外務省

Lic.Adriana Lanutigh	国際協力局二国間協力部長
Lic.Andrea de Farnasari	国際協力局二国間協力部担当官

### サンルイス州

Dr.Adolfo Rodrigues Saa	州知事
Lic.Claudio Poggi	大蔵・公共事業大臣
Lic.Maria Ines Blois	州統計局長

## メンドーサ州

Dr.Alejandro Gennari	経済企画・農業省次官
Lic.Patoricia Gimenez	州統計局長
Lic.Liliana Rama	統計部長
Lic.Guillermo R. Balmaceda	技術部長
Sr.Celiz I. Mut	センサス部長
Dr.Ricardo Leiva	アルゼンティン統計協会会長

## ミシオネス州

Ing.Carlos Eduardo Rovira	州知事
Lic.Jose Luis Alzarra	広報部長
Lic.Raul Castano	州統計局長
Lic.Miguel Dos Santos	事務部長
Lic.Liliana Nadali	統計サービス部長
Lic.Horacio Tentorio	人事部長
Lic.Teresita Biele	センサス部長
Lic.Boero Maria del Carmen	統計作成方法部長

## サンタフェ州

Lic.Raquel Pellatelli	州統計局長
-----------------------	-------

## サルタ州

Lic.Juan Carlos Cid	州統計局長
---------------------	-------

## チュブット州

Sra.Liliana Rodriguez	州統計局長
-----------------------	-------

## 在アルゼンティン日本大使館

渡辺 和男	公使
青木 保男	一等書記官

JICAアルゼンティン事務所

雲見 昌弘	所長
岩谷 寛	次長
Sr.Victor Pedro Kumabe	クラーク
Sra.Noriko Nagashima de Carbia	通訳

プロジェクトチーム専門家

藤田 峯三	チーフアドバイザー
澤田 城二	情報処理
鈴木 和廣	業務調整